

「早香」の着色促進に効果的な予措温度

[要約] 「早香」は、樹上に置くより、収穫後予措を行ったほうが果皮の着色は進む。予措温度は15℃（湿度90%）が、果皮の着色を促進するのに効果的である。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科

専門

栽培

対象

果樹類

分類

普及

平成6年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

「早香」について、樹上に残した果実と収穫・予措した果実で、果皮色、形質の変化を確認するとともに、収穫果実に対する適正予措温度を明らかにした。

[成果の内容・特徴]

- ①果皮色は、樹上に結実させておくより、収穫後予措を行ったほうが進む（表1）。
- ②予措温度は、10℃より15℃が、果実の減量はやや大きくなるものの果皮のa値（赤色度）は高くなる（表2）。
- ③果皮障害の発生は予措温度15℃がやや多い（表3）。

[成果の活用面・留意点]

果実形質、特に酸含量の推移に留意し、適期収穫に努める。

[具体的データ]

表1 「早香」の樹上果実と収穫・予措果実の果皮色（赤道部）の推移

処 理	予措 温度	a 値				a / b 値			
		11.30	12.14	12.26	1.5	11.30	12.14	12.26	1.5
樹 上	—	17.6	28.4	28.7	28.0	0.28	0.43	0.47	0.50
収 穫	10℃	17.6	28.7	31.3	32.3	0.29	0.44	0.51	0.54

表2 「早香」の予措温度と果皮色（赤道部）の推移

処理前 着 色	処理 温度	a 値				a / b 値			
		処理前	10日後	14日後	20日後	処理前	10日後	14日後	20日後
3～5分	10℃	8.6	18.5	21.3	23.9	0.15	0.30	0.35	0.39
	15℃	6.3	19.2	23.0	25.4	0.11	0.30	0.37	0.41
6～7分	10℃	20.9	26.2	27.6	28.3	0.34	0.42	0.45	0.46
	15℃	21.6	27.4	28.7	30.0	0.34	0.43	0.47	0.50
8～9分	10℃	30.2	32.4	32.3	32.0	0.50	0.53	0.55	0.55
	15℃	30.6	32.9	33.7	33.7	0.51	0.55	0.57	0.58

表3 「早香」の予措温度と果皮障害の発生<sup>\*</sup>

処理前 着 色	処理 温度	へた枯れ			浮き皮			しなび		
		10日後	14日後	20日後	10日後	14日後	20日後	10日後	14日後	20日後
3～5分	10℃	5.6	8.9	12.6	11.1	20.7	27.6	7.8	9.2	11.5
	15℃	3.3	10.3	16.1	20.0	24.1	29.9	7.8	11.5	14.9
6～7分	10℃	7.8	11.5	17.2	20.0	31.0	37.9	5.6	10.3	16.1
	15℃	5.6	12.2	43.3	11.1	16.7	21.1	10.0	12.2	18.9
8～9分	10℃	8.9	20.7	31.0	7.8	12.6	17.9	6.9	12.6	17.9
	15℃	10.0	16.1	25.3	26.7	25.3	17.2	17.8	24.1	24.1

$$* \text{果皮障害の発生度} = \frac{\sum (\text{発生程度別果数} \times \text{発生指数})}{3 \times \text{調査果数}} \times 100$$

[その他]

研究課題名：中晩生かんきつの特性調査並びに栽培試験

予算区分：県単

研究期間：平成6年度（平成5年～10年）

研究担当者：濱口壽幸，岸野 功

既発表論文等：平成6年度長崎県果樹試験場業務報告。

残された問題点：5分着色未満の果実の着色促進法を検討する必要がある。